

C-75 装束類の裁縫について (第4報)

—— 袍 ——

大妻女子大家政

○村山栄子

田中孝子

橘 杏

阿部栄子

海浦由希子

木野内清子

目的 前報に引き続き、貴重な文化遺産を伝承するため、伝統技術の考察と記録を目的に本調査を試みた。今回は束帯をとりあげ、そのなかの袍の裁縫過程を考察してみた。

方法 伝統技術の伝承は体得によるものが多く、その記録はほとんどみられない。そこで、過去の装束についての報文を参考に現在の装束の裁縫過程を装束師の技術から考察してみた。

結果 束帯の上衣である袍は、格調高く調製することが要求され、張りのある素材を損なわないような装束独特の裁縫が行なわれている。部分的には、首上、ほこえ、襷などに特徴がみられ、永年培われた装束師の技術を考察することができた。